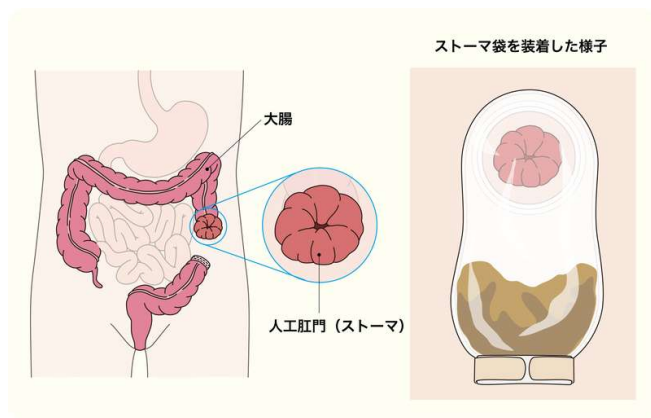


「ストーマ」の話

「ストーマ (stoma)」とは？

「ストーマ」(stoma、「ストマ」とも)とは、便又は尿を排泄するために消化管や尿路を人為的に体外へ誘導して造設した開放孔(主に排泄口)の事です。「ストーマ」はギリシャ語で「口」を意味します。

「ストーマ」には、「消化管ストーマ」の他に「尿路ストーマ」があり、「人工肛門」や「人工膀胱」とも呼ばれます。自分の腸や尿管を直接体の外に出して、新しい便や尿の排泄の出口として管理します。

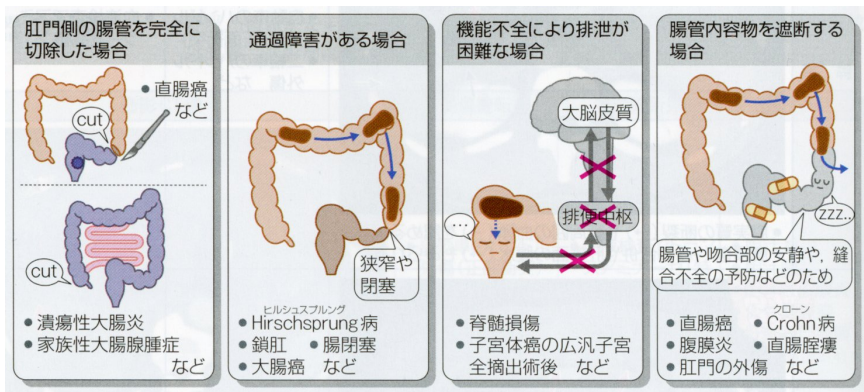


「ストーマ」造設の理由

「消化管ストーマ」は図(右)の様に肛門から排泄できない、または肛門から排泄しない方が良いと判断された場合に造設されます。

人工肛門の対象となる人

- ・「がん」のために腸を切除した人
- ・「潰瘍性大腸炎」や「クローン病」などで、腸にひどい炎症が起きている人
- ・腸閉塞などで腸が詰まっている人
- ・腸の手術後などで、一時的に腸を休ませたい人



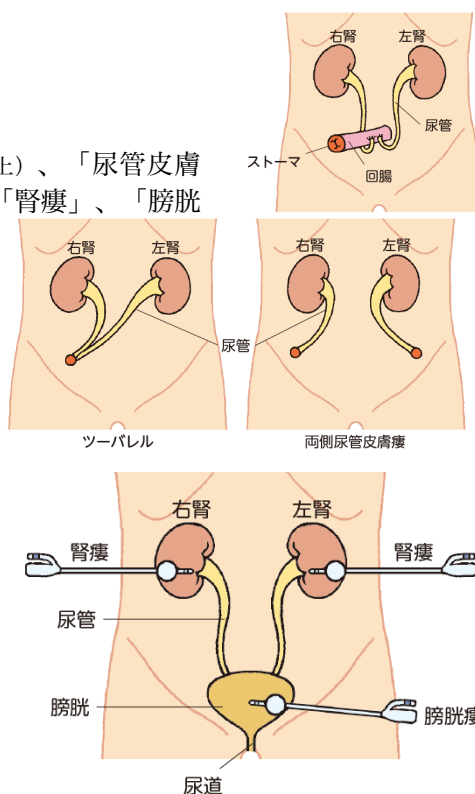
尿の排出のための「ストーマ」は、「回腸導管」(図右:上)、「尿管皮膚瘻」(図右:中)では「ストーマ」装具の装着が必要になり、「腎瘻」、「膀胱瘻」(図右:下)ではカテーテル管理が必要となります。

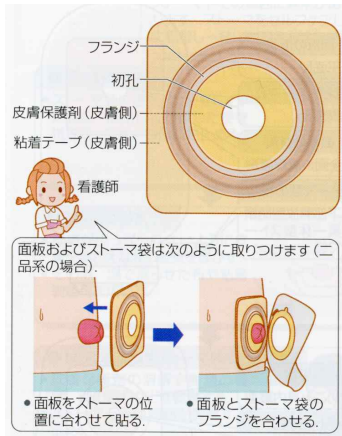
人工膀胱の対象となる人

- ・「がん」のために膀胱や尿管を切除した人
- ・「がん」や病気の炎症によって尿の通り道が邪魔されて、うまく排尿できない人

「消化管」ストーマの分類

- ・造設されている期間では、「永久ストーマ」の他に、後日、閉鎖・還納する、一時的に造られた「一時的ストーマ」があります。
- ・造設部位では、「回腸ストーマ」「結腸ストーマ」などがあります。
- ・開口部の数による「単孔式」と「双孔式」に分類されます。「単孔式」は「永久的」な「人工肛門」として使われる事が多くなります。





「ストーマ」に装着する器具、「ストーマ装具」は、排泄物を収集する「ストーマ袋」と、それを皮膚に固定する土台になる「面板(めんいた)」(図上)からなります。

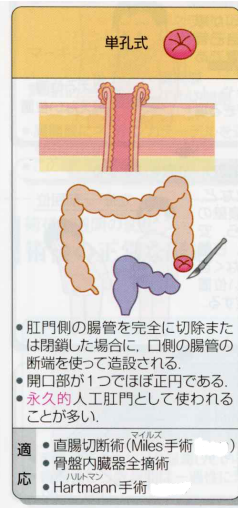
「面板」と「ストーマ袋」が一体化になった「単品系装具(ワンピース系装具)」と「面板」と「ストーマ袋」が分離可能な「二品系装具」に分かれます。

「ストーマ」が造設されると、「ストーマ袋」に溜まる排泄物や「ストーマ装具」の管理が必要になります。「ストーマ」造設直後は看護師が行いますが、自分で行える様になると造設前とほとんど変わらない日常生活をおくれるようになります。「ストーマ」があっても「ストーマ装具」を装着していれば湯船に浸かることも温泉に入ることも可能です。

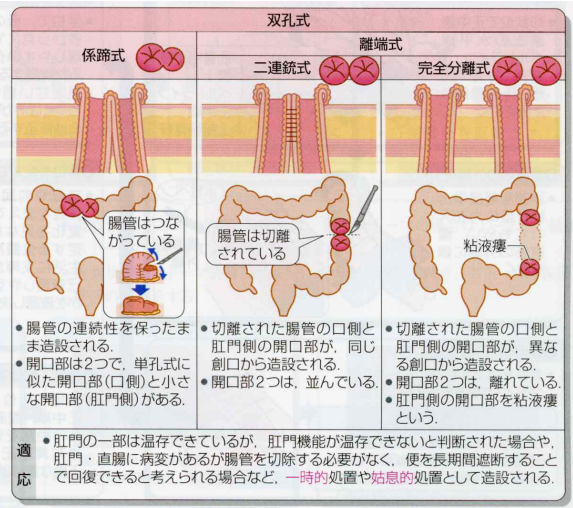
排泄物は「ストーマ袋」の中に溜まります。普段トイレに行くように、「ストーマ袋」に溜まる排泄物を処理する必要があります。「ストーマ袋」の先端には穴が開いていますが、普段は栓やクリップで閉じられています。排泄物を処理するときにはそこを開けて、「ストーマ袋」に溜まった分をトイレに流します。就寝前や外出前には「ストーマ袋」の中身を空にする良いでしょう。



また、公共施設の中には(「人工肛門」保有者、又は、「人工膀胱」の保有者の方を指す)「オストメイト」専用トイレがあります。パウチ内の排泄物を捨てやすいよう、一般的なものよりも高さのある便器が置かれ、また個室に水道も設置されています。



適応
 ●直腸切断術(Miles手術) ●骨盤内臓器全摘術 ●Hartmann手術



適応
 ●肛門の一部は温存できているが、肛門機能が温存できないと判断された場合や、肛門・直腸に病変があるが腸管を切除する必要がなく、便を長期間遮断することで回復できると考えられる場合など、一時的処置や姑息的処置として造設される。

図(上)：開口部の数による分類



図(上)：術後の正常な経過

術後1週間の変化。造設後「ストーマ」からの排泄は「回腸ストーマ」の場合には1~2日、「結腸ストーマ」では3~5日程度で始まります。術後から「ストーマ装具」を装着し、手術創の汚染を防ぎ、ストーマの保護、排泄が管理されます。



図は、「病気が見える vol.1 消化器」<MEDIC MEDIA>、「MEDLEY」・「看護roo!」ホームページ、朝日新聞 DIGITAL から引用しました。

この「診療所だより」や診療についての御意見・御要望などをお気軽にお寄せ下さい。これからの参考にさせていただきます。

編集・発行： 勝山諒亮

勝山診療所

〒639-2216 奈良県御所市343番地の4 (御国通り2丁目) 電話：0745-65-2631